

製品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。
取付後は、お客様にご使用方法を十分ご説明ください。

安全のために必ずお守りください

取付けの前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。

- この説明書では機器を安全に正しく取付けていただくために、必ずお守りいただくことを、△注意の表示によってお知らせしています。

△注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性を示しています。

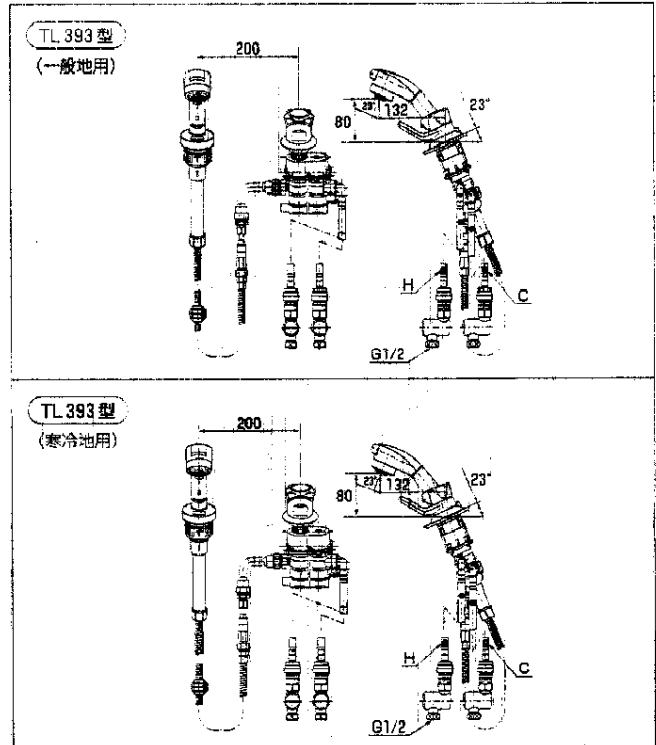
△注意

- 湯水を逆に配管しないください。
水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。
- 凍結が予想される際は、水を抜いておいてください。
凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。(寒冷地用)

付属部品明細

名称	数量
保証書	1冊
取扱説明書	1冊
ストッパー	1個
開閉工具	1個

完 成 図



使 用 条 件

1. 使用水圧

(1) 瞬間型給湯機と組合せる場合

給水圧力 最低必要水圧…(下表参照)
最高水圧…0.75MPa

器具入口部における最低必要水圧 (MPa)

給湯機タイプと号数	最低必要圧力
能力手動切替タイプ	12号 A+0.2
比 例 制 御 タ イ プ	TOTO カスタム 制御方式 10号 0.11
	TOTO カスタム 制御方式 16号 0.12
	TOTO トリコン 制御方式 (トリコン コンタクト アクティ) 16号 0.08
	TOTO トリコン 制御方式 (トリコン コンタクト アクティ) 20号 24号 0.06
TOTO ハイトリコン 制御方式 24号 0.07	
TOTO コマンド 24号 0.07	
TOTO ハイコマンド 21号 24号 0.06	

注) 表中のAは給湯機の最低作動水圧を示します。
(比例制御タイプにはこの数値が含まれています。)

〈設定条件〉

- 開閉ハンドルは全開
- 吐水はソフト吐水
- 吐水温度: 38℃
- 給湯配管長さ: 5m
- 給湯機が着火する下限の圧力とする。
- 水温の低い(25℃)夏期に着火させることを想定。
- 能力手動切替タイプの出湯温度は最高温度に設定。
- 比例制御タイプの出湯温度: 60℃

*能力手動切替タイプで水温が高く着火しにくい場合は、能力を小さく切替えると着火しやすくなります。

2.貯湯式温水器と組合せる場合

給水・給湯圧力 最低必要水圧…0.05MPa
最高圧力…0.75MPa

3.給水・給湯圧力はできるだけ同圧になるようにしてください。

*給水圧力が0.6MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2MPa程度に減圧してください。ただし給湯圧力は、給水圧力より高くないよう設定してください。

2.給湯温度は使用する温度より10℃以上高くしてください。

3.給湯温度

1.給湯に蒸気を使用しないでください。

2.給湯温度は最高95℃まででお使いください。

3.電気温水器ご使用の際は、給湯温度を85℃以下に調節してください。

85℃以上で使用になると、器具の寿命が短くなり水栓が破損し、水漏れのため家財に損害を与えるおそれがあります。

4.湯・水を逆配管しないでください。

給水ホースには⊙ラベルを、給湯ホースには⊕ラベルを貼り付けています。

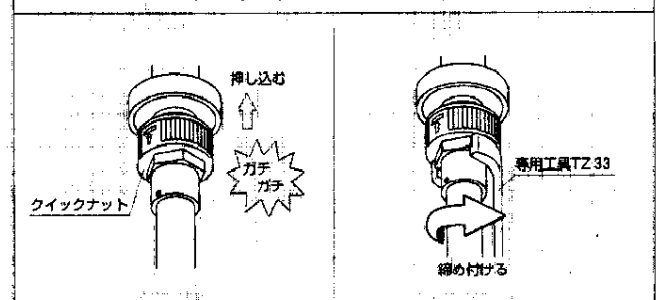
なお給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。

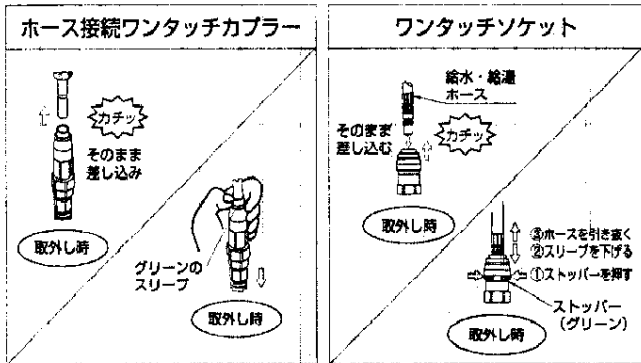
5.水勢の調整及び器具の点検を容易にするために、必ず別途止水栓をご用意ください。

取 付 け 前 に

より簡単に施工していただくために、本商品は、クイックナット、ホース接続ワンタッチカバーおよびワンタッチソケットを採用しています。

クイックナット





※ワンタッチソケットは、フィルター・逆止弁部と一体で同梱されています。

器具の取付け

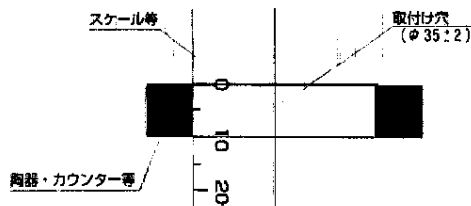
1. 給水・給湯管内の清掃

器具を取付ける前に必ず給水・給湯管内のこみ、砂などを完全に洗い流してください。

2. 本体の取付け

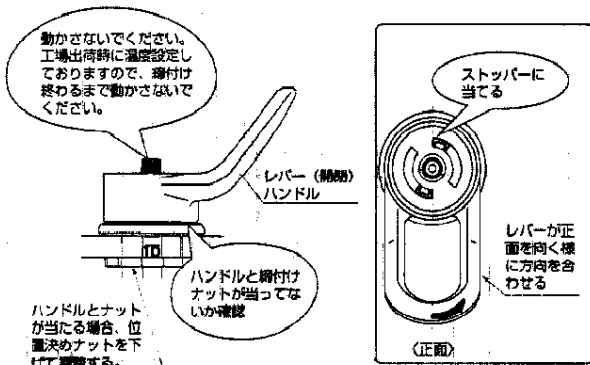
1) 取付け側の厚みを測定

まず取付け側(陶器・カウンター等)の厚みをスケール等で測ってください。



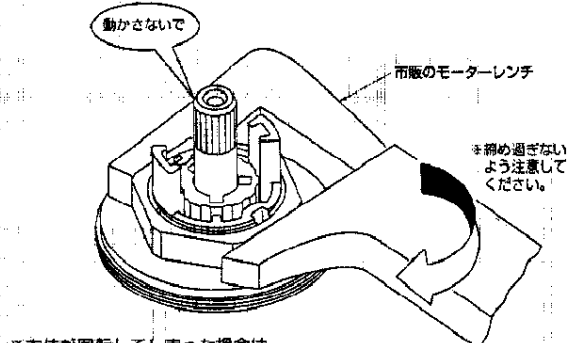
4) レバー(開閉)ハンドルを仮組みしてレバーの向き、位置決めナットを微調整する。

(赤テープをはがしてください)



5) レバー(開閉)ハンドルを外し本締めする

本体が回転しないように注意して締め付けてください。

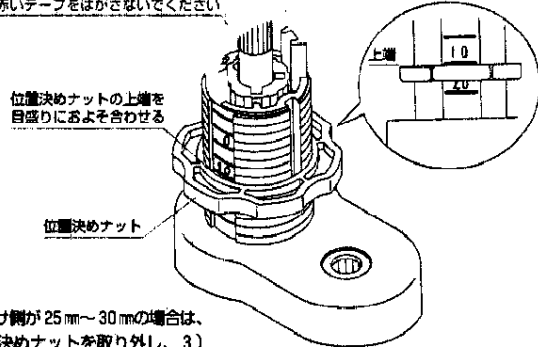


※本体が回転してしまった場合は本体を回転させて、位置を戻してください。

2) 目盛りに合わせて

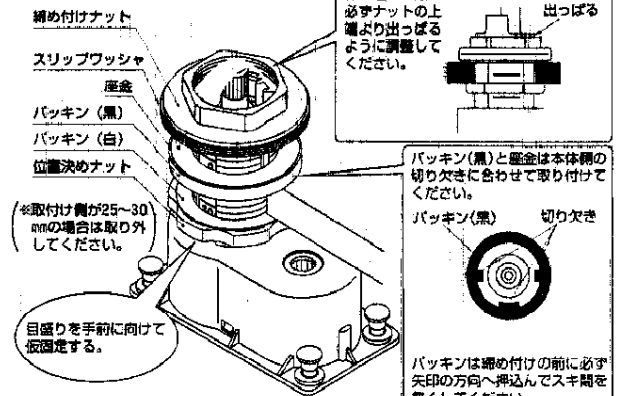
先に測った厚みを参考に、位置決めナットの上端を目盛りにおおよそ合わせてください。

(注) 赤いテープをはがさないでください

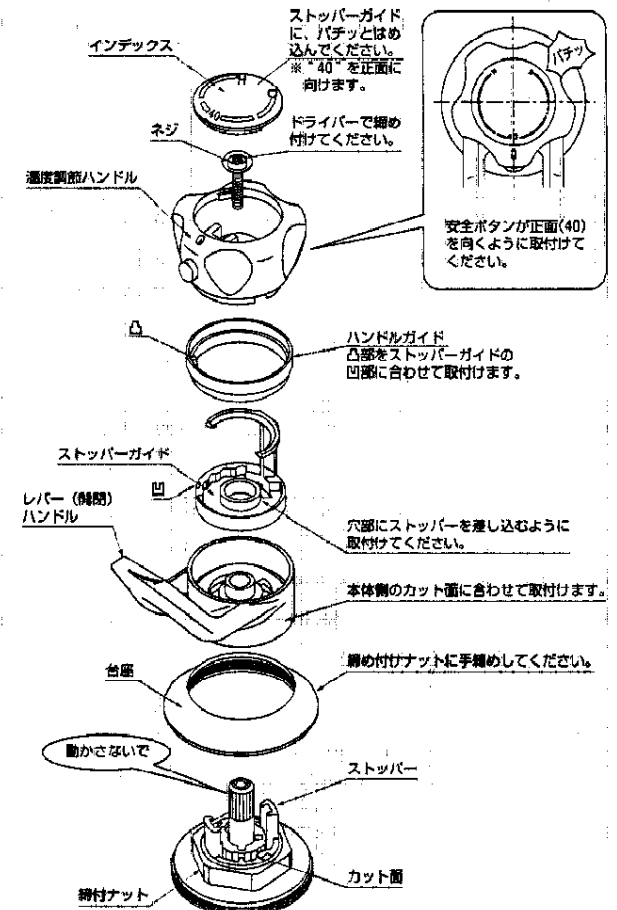


※取付け側が25mm~30mmの場合は、位置決めナットを取り外し、3)に移ってください。

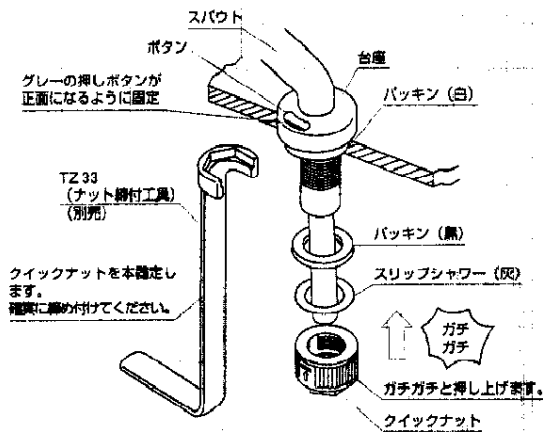
3) 仮縛めする



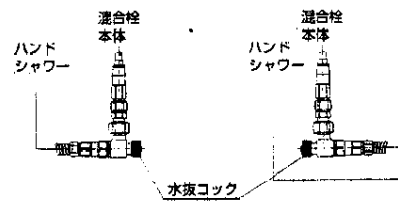
6) ハンドルその他の組み付け



7) ハンドシャワー支持部の取付け

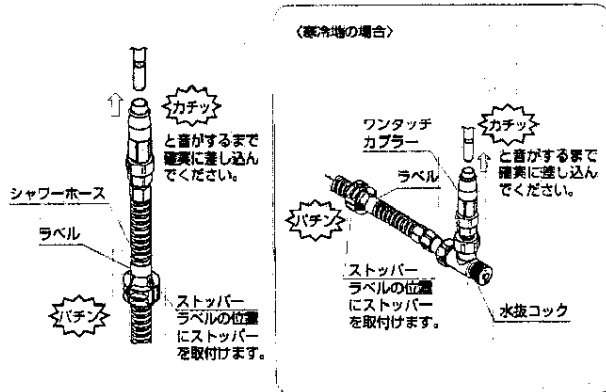


●水抜コックの取付け方向に注意してください。(寒冷地の場合)

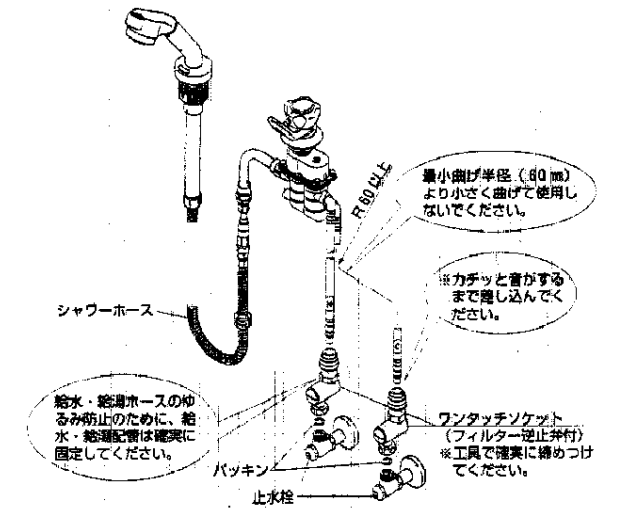


※水抜コックにシャワーホースを締付けた後ワンタッチカプラーを、接続管に押し込んでください。

8) シャワーホースの取付け



9) ワンタッチソケット及び給水・給湯ホースの接続



※ホースは最小曲げ半径(80mm)より小さく曲げて使用しないでください。折れて早期破損を生じる可能性があります。施工時には最小曲げ半径(80mm)よりも小さく曲げないように、ご注意ください。又、金具本体端面から極端に屈曲して施工しないでください。

取付後の調整

1. フィルターの掃除

フィルターが詰まると吐水量が少なくなったり、水又は熱湯しか出なくなったりするなど十分な機能が発揮されなくなります。器具取付後は「取扱説明書」の手入れのしかたをご参照になり、必ずフィルターを掃除してください。また、お客様にも時々掃除していただくようご説明ください。

2. 温度確認及び調節

工場で温度調節をしていますが、取付現場の圧力状況などによって目盛り通りの吐水温度にならない場合があります。その場合は「取扱説明書」の温度調節のしかたをご参照になり、温度調節を行ってください。

お 手 入 れ

器具がいつまでも美しさを保つように、又快適にお使いいただけるようお客様にお手入れ方法をご説明ください。

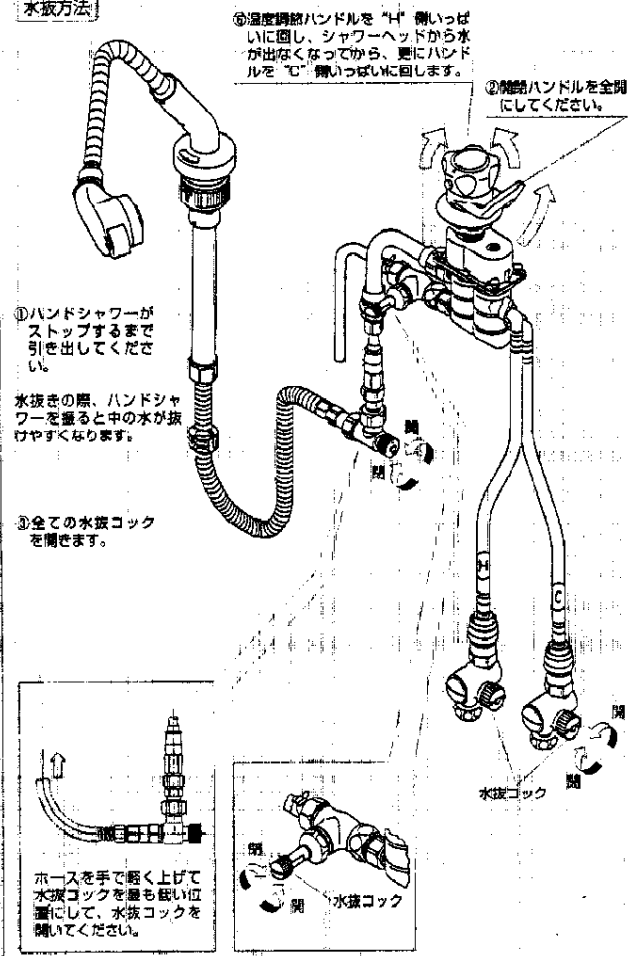
1. ふだんは柔らかい布でふいてください。
2. スムーズな昇降動作を行うために、定期的に支持管を柔らかい布でふいてください。
3. クレンザーやみがき粉など粗い粒子を含んだ洗剤やナイロンたわしなどは使用しないでください。又支柱部に油、オイルなどは絶対につけないでください。
4. 酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しないでください。もしタイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにタイル及び器具を十分水洗いしてください。

寒冷地用水抜方法

寒冷地用の場合は、器具内の水を抜くため、水抜コックを設けております。凍結のおそれのある時期に施工された場合は、水抜栓の操作とあわせて、次の要領で水抜きをしておいてください。またお客様にも水抜方法をご説明ください。

- ※水抜コックを開ける時は受皿などで受けてください。
- ※水抜き後は必ず水抜コックを確実に閉めてください。
- ※水抜き後は必ず元のようにセットしてください。

水抜方法



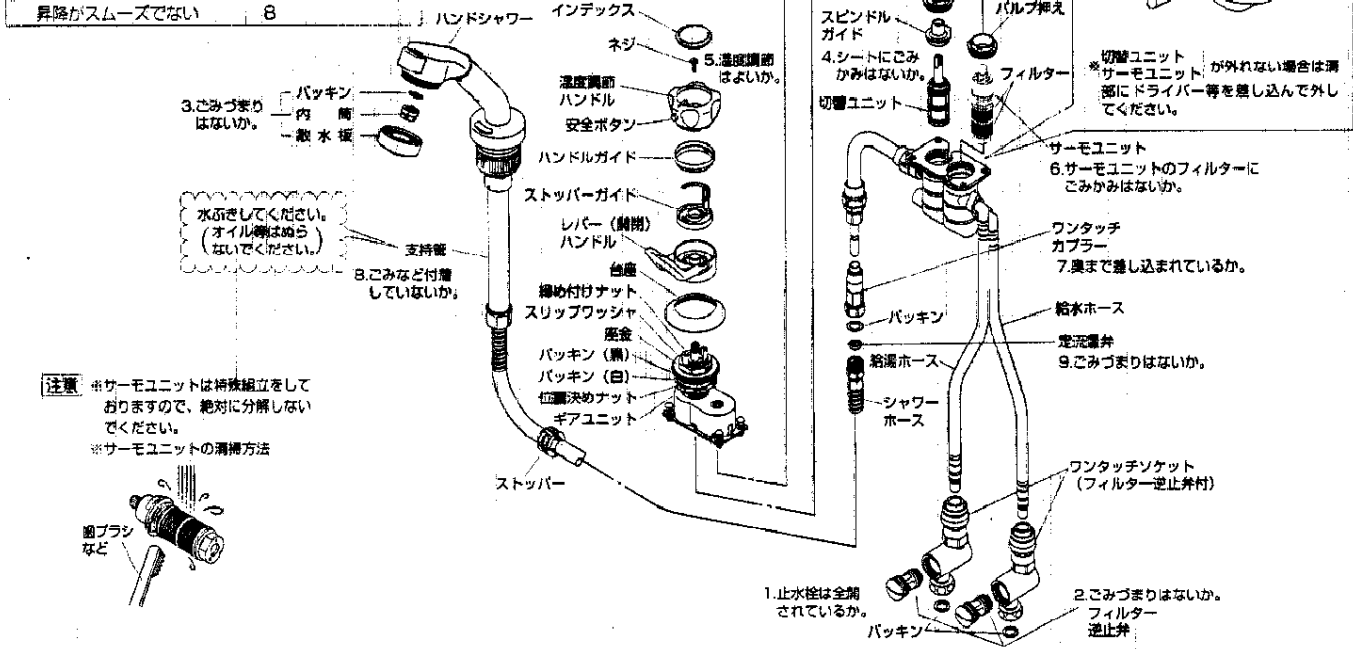
分解と点検

取付後、万一故障した際は、次の要領で分解及び点検を行ってください。

ご注意 ギヤユニット・サーモユニットは絶対に分解しないでください。

現象	点検項目
流量が少ない	1・2・3・6・9
水が止まらない	4
高温しか出ない	1・2・4・5・6
低温しか出ない	1・2・4・5・6
目盛どおりの湯が出ない	1・2・4・5・6
通水時、床がぬれる	7
昇降がスムーズでない	8

一般地用



現象	点検項目
流量が少ない	1・2・3・6・9
水が止まらない	4
高温しか出ない	1・2・4・5・6
低温しか出ない	1・2・4・5・6
目盛どおりの湯が出ない	1・2・4・5・6
通水時、床がぬれる	7
昇降がスムーズでない	8

寒冷地用

